

Special Edition  
 特集◎霧島市自然文化事業  
 THE WINDS OF GOD  
 ～霧のかたどく～

# 霧島

霧島新報  
 JUN.2006 VOL.14  
 7



6月19日 午後4時18分 隼人町小浜

Kirishima City Public Relations, Japan  
2006.7 VOL.14

霧島新報



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)  
 ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メール/〒899-4394 世/0995-45-5111(代)  
 ■編集/広報広聴課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/南国分新報社印刷

RE100

PRINTED WITH SOY INK

◎今月の表紙



**珍**しい風景に引かれた。大きな岩が露出し、一枚一枚が独特の形をしている棚田。青空を駆け巡る雲が、澄んだ水面に写り込む瞬間を撮りに行くがなかなか条件が合わなかった。この辺りは錦江湾と桜島が一望できるポイントで、ドライブには最高です。

【撮影地】国道10号の手動式信号(小浜部消防車庫赤色灯が目印)から山手を目指す。踏切と単人道路下を通過したところに広がる。

【撮影データ】デジタルカメラ レンズ28-70mmF/2.8 ISO100 1/125 F5.6

Editor's

高校総体が各地で行われ、知り合いの子どもたちが大活躍し自分のことのようにうれしくなります。かねての努力のたまものだと思います。我が息子のサッカー部は3回戦で残念ながら敗れてしまいました。ドイツのワールドカップ、日本は予選敗退となりました。せめて1勝してほしかったのですが、4年後に期待します。(い)

霧島市には小学校34、中学校14、高校が6校もあります。「学校へ行こう」のコーナーは4年ぐらい続きそう。学校と言えば昔、小学校の家庭科でみそ汁やゆで卵を作り、先生が「ゆで卵余ったから食べませんか」と言ったので、「はい」と言おうとしたその瞬間、前の席の女子がその卵をとったのだ。(チッキンヨー)(た)

6月は「父の日」がありましたね。お父さん方は日ごろの労をねぎらってもらえたでしょうか。私の父が喜ぶ物といえば「焼酎」。毎年決まって焼酎を下げて帰り「はい、父の日」と渡すのです。父は「ありがとうね」と言い床の間に置いてくれるのに、面と向かって「いつもありがとう」と言えない私。皆さんはどうなのかなあ。(あ)

先日、陵南幼稚園の子どもたちの給食センター見学を撮影に行ったとき、後ろから「おじちゃんこっちも撮って」という声が…。同幼稚園の先生がとっさに「お兄ちゃんでしょ」とフォロー。もう30歳の私は「おじちゃん」と言われることにも慣れてきましたが、先生のとっさのフォローうれしかったです。お世辞でも…。(み)

◎人口/128,236人(+174)  
 男性/62,088人(+93) 女性/66,148人(+81)  
 出生112人/死亡110人 転入507人/転出336人  
 ◎世帯数/56,298人(+129人)  
 (平成18年6月1日現在)



## 霧島市を舞台にした映画「THE WINDS OF GOD」 多くの市民が協力し出演しました。 ご近所お誘いの上、ご来場ください。

争末期の日本海軍。なんと彼らは事故のシヨックで戦争の時代へタイムスリップしてしまったのである。彼らに突きつけられた現実、アニキは岸田、キンタは福元という神風特攻隊員としての前世の姿。時空の渦に巻き込まれた彼らは戸惑い現実を否定しながらも時を彷徨っていく。戦争という大儀の前、任務遂行のため命を差し出すことを余儀なくされた若者たち。その中で突然突きつけられる「死」という現実。ある者は任務に忠実であり、ある者は神に祈り、ある者は心の奥に疑問を抱きつつ、それでも戦いの空に飛び立っていく。

映画のあらすじは、現在のニューヨークの街。いつか「エミー賞」を取ろうと夢見る売れないコメディアン、白人のマイクとハーフのキンタがライブハウスのステージをクビになったその日、8月1日に交通事故にあつてしまう。そして意識を取り戻した場所が、なんと1945年8月1日太平洋戦争末期の日本海軍。しかも、アメリカ人としてではなく日本人の神風特攻隊員として。意識はアメリカ人のマイクとキンタ、でも、外見は日本人。過去にタイムスリップし日本人になつてしまった2人は戸惑い、現実を否定しながらも、目の前で死んでいく若者に何もしようがないことに歯がゆさを感じはじめる。

過去と未来の狭間で運命に翻弄される2人。ついに彼らにも零戦に乗る日がやってきた。彼らの運命は――



1988年の初演から2005年までの間、  
17年のロングランという長期公演を行い  
大成功を収めました。  
この作品の驚くべきパワーは、  
日本の神風特攻隊の話であるにも関わらず、  
N.Y.ブロードウェイをはじめ、ハワイ、ロンドンなど、  
海外においてもスタンディングオベーションを受け  
大絶賛を博すほど、宗教や人種をこえて  
世界中の人々に認められたという事です。

### 作品内容

「THE WINDS OF GOD ～夢のかなたへ～」は俳優の今井雅之さんが脚本・演出・主演の3役を務め、舞台演劇として足掛け17年間演じてきたロングラン作品です。内容は特攻隊の物語で、彼らがどのような心境で何を思い飛び立って行ったのかを描いています。この作品は全国ツアーでも好評でした。ニューヨークのブロードウェイなどの海外公演ではスタンディングオベーションを受けるほどの大絶賛を受けました。

そんな今井さんが映画「THE WINDS OF GOD」を製作。舞台演劇を映画化したもので、国分の特攻基地が映画の舞台となつています。「海外の人にも特攻隊の真実を知っていただきたい」という今井さんの思いから、日本の映画では珍しくセリフは全て英語。また、実際に飛行できる零戦を使用。これは世界に一機し

かないということ、今井さんのこだわりが作品の随所にちりばめられています。映画は昨年、霧島市を中心に撮影され、エキストラで多くの市民も出演。また、霧島市の有志が零戦の製作や撮影場所の提供など大きく映画製作に関わっています。今回、撮影地に霧島市が選ばれた最大の理由は、今井さんの熱い思いを霧島市民が受け止めてくれたことです。また、鹿児島には、知覧や鹿屋など数カ所に特攻基地がありますが、国分地区（現在の陸上自衛隊国分駐屯地）にも基地がありました。霧島市に特攻基地があった事実はあまり知られていません。

あらすじ  
舞台版のあらすじは、2006年8月1日東京。「お笑い名人大賞」を夢見る漫才師、アニキとキンタ。劇場をクビになった二人は交通事故に；意識を取り戻すとそこは1945年8月1日太平洋戦争



5人のかたにインタビューしました。

インタビュー



竹下 肇さん(国分)

### 人柄に惚れて

今井さんは一人で突然現れました。そしていきなり映画の話を始めました。最初は「今井さんだ」と驚いていましたが、純粹で真っ直ぐな性格に意気投合。初めて会う私に熱心に映画製作について話してくれました。その熱意に打たれ、映画製作を手伝いました。この作品は、今井さんの熱い思いが伝わってくる作品です。



森山茂知さん(国分)

### 今井さんの考えに共鳴

私は同時多発テロのときに「カミカゼアタック」と表現されたことを疑問に思っていた。今井さんも同じ気持ちだと聴き、映画製作に協力することになりました。完成した映画を見たとき、とても迫力があって感動しました。特攻隊などの歴史があって今の日本がある。特攻隊員と同じような若い年代の人にも見てほしい。



森 聖子さん(単人)

### 一番の映画

私はエキストラとして映画に出させてもらいました。初めて見る撮影現場はビリビリとした緊張感があり、「最高の映画を作りたい」という思いが伝わってきました。そして、完成した映画を初めて見たとき、出演者、スタッフの思いが伝わってきて最高に感動しました。私にとって一番の映画です。



富吉正也さん(国分)

### 何度も見たい作品

今井さんの映画にける意気込みを感じ、セットや小道具、零戦製造など美術関係の手伝いをしました。私は舞台を2回、試写会を2回見に行きましたが全然飽きず、何度も見たくなるような奥深いストーリーです。特に特攻隊の事実を知らない若い人には、ぜひ見てもらいたいと感じました。



鎌田善政さん(国分)

### 多くの人に見てもらいたい

私はかねてから「出会えるべき人には必ず出会える」と思っています。今井さんはその一人でした。出会ってすぐに今井さんの誠実と熱血が伝わり撮影に協力することにしました。映画にも今井さんの情熱がたくさん詰まっていて感動しました。この映画がヒットして霧島市のPRにつながってほしいです。

当市でした。今井さんは次のように述べています。  
「霧島市は海、川、山などの自然が豊富なんです。と言っても人情が厚い。霧島市は映画やドラマのロケ地として最適です。今回の映画撮影を行うにあたって、ほかの自治体も回りましたが、霧島市の反応がよく、たくさんの方に協力していただきました。そのようなことを考えると、フィルムコミッションがあってもおかしくありません。フィルムコミッションとは、映画、テレビドラマなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関を指します。現在、この取り組みが全国的にも注目されています。」

### profile

いまい まさゆき / 1961年(昭和36年)4月21日生まれ。兵庫県城崎郡日高町出身。1980年4月陸上自衛隊、一般陸曹候補生入隊。1980年12月陸上自衛隊、第三戦車隊配属。1981年9月退職。1986年3月法政大学文学部英文科卒業。平成3年度文化庁主催芸術祭賞 / 原作・脚本・演技・史上初3賞受賞。アフタースタジオ国際連合作家協会芸術賞受賞。

脚本・監督・主演

# 今井雅之さん



# 二度と戦争が起こらないよう、平和と命の尊さを訴え続けていきます

映画の試写会が6月2日に初めて鹿児島市内で開かれました。前日には鹿児島テレビ放送に今井雅之さんが生出演。出演前に、今井さんに話を伺いました。

違っていることに気付いたのです。取材したかたに言われたのは、「国のために天皇陛下万歳と言って死んでいった隊員を私は知らない。死への覚悟はできていたが、特攻の命令を受けたときは頭が真っ白になっていた人もいた。それでも家族を守りたい、ただそれだけの思いで死んでいったんだ」それを聞いて自分の特攻隊へのイメージが変わりました。いつも死の恐怖を感じ、家族のために命を懸けた。彼らこそ、命を一番大切にしていたのです。このことを多くの人に知っていただきたいという思いでこの作品を作りました。

8月11日の霧島市溝辺町みそめ館の公演を皮切りに、「THE WINDS OF GOD」(夢のかなたへ)の全国ツアーが始まります。この作品を手がけたのは、27歳のとき。そのころの日本の舞台演劇は、アメリカのプロロードウェイをまねた作品が多かったため、日本人を題材にした作品を作りたいと考えていた今井さんは、特攻隊を題材に作品を描くことを思いついたのです。

### 特攻隊の本当の姿とは

それから17年間、この作品を全国で演じてきました。当初、戦争がテーマで内容が特攻隊であることから、なかなか理解してもらえませんでした。スポンサーもなし。出演を依頼した役者にも「今、特攻隊なんて」と出演を断られ、アルバイトを雇い舞台演劇を始めました。しかし、特攻隊の真の姿を伝えたいという気持ちはまったく変わっていません。

舞台「THE WINDS OF GOD」  
2006.8.11 fri 6:30pm

霧島市溝辺町みそめ館

映画「THE WINDS OF GOD」  
2006.8.12・16

霧島市多目的ホールで全国上映に先がけて上映予定  
◎8月下旬から全国で順次ロードショー

今回、映画を製作しようと思ったきっかけはアメリカ同時多発テロ。今井さんは熱く語ります。  
「とてもショックでした。テロもそうですがアメリカの新聞に、このテロのことをカミカゼアタックと書かれてあったことが…。テロは一般人が犠牲になりました。特攻隊は戦争の中で敵の戦艦に突っ込んだ。でもいち戦闘員しか犠牲になつていない。テロと特攻隊を同じく扱うことに違和感を覚えたのです。しかもカミカゼアタックと書かれたことに対し、日本は何のクレームもつけない。とても悔しくて悲しかった。」

このとき自分が今まで舞台を通して訴えてきたことが伝わっていないと感じました。もっと多くの人に伝えたい、そのために各地で上映できる映画製作を思いついたので。この作品を見た人に命の尊さを感じていただけたら幸いです」

フィルムコミッション設立の可能性  
この舞台作品を映画に仕上げ、今年の1月7日に当市で上映されたことは、記憶に新しいところです。映画のロケ地は



【舞台公演一般発売】  
チケット：全席指定  
問い合わせ先：  
霧島市教育委員会文化振興課  
☎0995-64-0990



# INFORMATION (ご案内)

## 主な音楽祭教授と招待アーティスト

**ソプラノ:** アンナ・トモア・シントウ **合唱指揮:** 田中 信昭 **ヴァイオリン:** 藤原 浜雄、ダニエル・ゲーテ、景山 誠治、松原 勝也、四方 恭子 **ヴィオラ:** 店村 真積、馬淵 昌子、篠崎 友美 **チェロ:** 田中 雅弘、菊地 知也、山本 祐ノ介 **コントラバス:** 吉田 秀 **フルート:** エミリー・バイノン **ファゴット:** 岡本 正之 **ホルン:** 笠松 長久、日高 剛 **ピアノ:** ダン・タイ・ソン、練木 繁夫、フランク・ウィバルト、ジャン・ルメール **オルガン:** 水野 均

## 主なプログラム

- 7月22日 霧島神宮「かがり火コンサート」**無料**  
(19:30～) ～ビートルズからオペラまで
- 7月23日 オープニング・ガラ・コンサート  
(16:00～) ・ビュッフェパーティーつき
- 7月28日 室内楽シリーズI プラハ  
(13:00～) ～迷宮の黄金都市
- 7月29日 「葉っぱのフレディ/いのちの旅」コンサート  
(11:00～) (語り手:石坂浩二)
- 7月29日 室内楽スペシャル・ビュッフェパーティーつき  
(16:00～) ～ウイーン、香(かぐわ)しき愁(うれ)い
- 7月30日 室内楽シリーズII プダベスト  
(16:00～) ～ドナウのかがやき
- 8月 2日 チェロ・オーケストラ・キリシマ  
(19:00～) ～チェロの魅力120%
- 8月 3日 室内楽シリーズIII ウイーン  
(19:00～) ～アマデウスの愛した管楽器たち
- 8月 5日 若い音楽家たちのコンサート **無料**  
(13:30～) (受講生修了演奏会)
- 8月 6日 ファイナル・コンサート  
(14:00～) オーケストラ・シリーズII

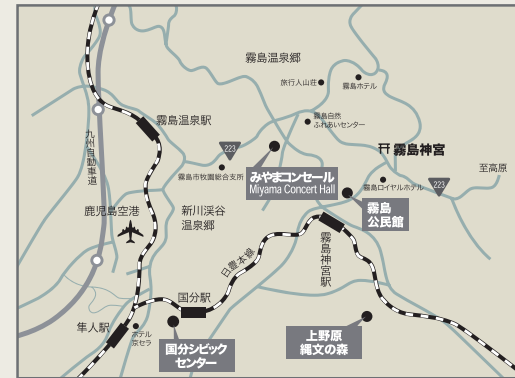
※上記は主にみやまコンセルで開催されます。詳細はみやまコンセルにお問い合わせください。

◎この他にも各地で無料コンサートを行います。

- 7月27日 (19:00～) 霧島公民館(霧島地区)
- 7月30日 (11:00～) みやまコンセル(小ホール)
- 8月 2日 (13:00～) 上野原縄文の森

※音楽祭に先駆けて、7月20日(19:00～)、国分シビックセンター多目的ホールにて霧島国際音楽祭アーティストによる無料コンサートを行います。ぜひお越しください。

## みやまコンセル周辺のコンサート会場地図(略図)



## 問い合わせ先

- ◎みやまコンセル(牧園町高千穂 柳平停留所近く)  
☎78-8000  
<http://www2.synapse.ne.jp/miyama/>
- ◎財団法人ジェスク音楽文化振興会  
☎03-3499-4530  
<http://www.jesc-music.org/>

地元友の会と音楽家、受講生が一体となり  
育ててきた霧島国際音楽祭が  
この夏もあなたに満足と感動をお届けします



心温まる料理で音楽家らをもてなす友の会(昨年)



一流の音楽家から指導を受ける受講生(昨年)



竹森道夫さん  
財団法人ジェスク音楽文化振興会事務局長/常務理事

## interview

「クラシックは音の世界遺産」何百年もの間、人から人へ受け継がれながら生きてきた音楽には8000年前から立つ屋久杉に出会ったような感動があります。夏の音楽祭は全国で大小50くらいありますが、霧島国際音楽祭は歴史や規模からいっても日本を代表する音楽祭で、集う音楽家は世界でも活躍している方ばかり。地元の方とのつながりや霧島の大自然に魅せられた音楽家にリピーターが多いのが特徴。皆さんの近くでも無料のコンサートがありますので、ぜひ生の演奏をご堪能ください。



The 27th Kirishima International Music Festival 2006

# 第27回霧島国際音楽祭2006

名誉音楽監督 ゲルハルト・ボッセ 音楽監督 堤 剛

霧島の夏の風物詩「霧島国際音楽祭」が、今年もみやまコンセルを中心に開催されます。この音楽祭は世界のトップクラスの音楽家がこの霧島の地に集い、一流の音楽を奏でる演奏会と、国内外から応募があった音楽家の卵・受講生の指導を行います。

7月21日から8月6日までの期間中は、県内あちこちで本格的なクラシックを楽しむことができます。

## 音楽祭のあゆみ

霧島国際音楽祭は、1980年名門オーケストラであるライプチヒ・ゲバントハウス管弦楽団の首席コンサートマスターだった、ゲルハルト・ボッセ氏の発案で始まりました。

これは75年に鹿児島(霧島)を訪れた際、鹿児島短期大学の野村三郎教授が講習会を依頼したことがきっかけで、「志があっても経済的な理由などで留学できない音楽学生のために、日本で指導を受けられる機会を与えよう」というボッセ氏の理念のもと、霧島の自然に魅せられたこともあり、「演奏会」と「教育」のいずれにも力を注いだ2本立ての音楽祭をこの地でできない

かと提案されました。

この提案を受け、地元の音楽愛好家が1979年に「鹿児島室内合奏協会」を設立。翌年同協会の主催で霧島高原ユースホテルを会場に、第1回目の霧島国際音楽祭・講習会が始まりました。その後、1984年財団法人ジェスク音楽文化振興会が音楽祭の事業を継承し、87年からは鹿児島県が加わり共催事業となったことで地域と密着した音楽祭に成長しました。

その音楽祭の発展に欠かせないのが霧島国際音楽祭友の会。音楽祭を発展させ地域の活性化を図ろうと、85年に牧園町と霧島町に、翌年には鹿児島市にも友の会が発足しました。牧園では演奏会の受付などのサポートや、演奏家や受講生、演奏会を聴きに來る方々を心温まる料



現在も受講生の指導にあたる名誉音楽監督のボッセ氏(昨年)

理でもてなすことで、音楽祭を支えています。

こうして霧島国際音楽祭は音楽文化の発展にかけ人々の情熱と、それを支援したいという地元の人々のもてなしの心が作り上げてきたのです。

## 今年の見どころ

第27回目となる今年には、「音楽三都物語」の第2弾として、中央ヨーロッパのウイーン、プラハ、プダベストにスポットを当て、この都市にちなんだ作曲を取り上げます。「どこのまちにもそこしか味わえない独特の雰囲気がある。その中で

作られた音楽を聴くことで、その雰囲気を感じてもらえたら」と話す財団法人ジェスク音楽文化振興会の竹森事務局長。特に今年にはモーツァルト生誕250年。ウイーン、プラハに縁のあるモーツァルトの作品を数多く取り上げます。

また大自然の不思議な力といのちの意味を描いた童話「葉っぱのフレディ」を、石坂浩二さんの語りと渡辺俊幸さんが作曲・編曲した音楽をアニメつきでお届けします。

この夏、涼風さわやかな霧島の自然と、質の高い音楽を堪能してみたいいかがですか。



# Zoom up Kirishima きりしま / かわら版 !! POINT OF VIEW

Zoom up Kirishima

きりしま / かわら版 !!

KOKUBU KIRISHIMA MAKIZONO YOKOGAWA HAYATO MIZOBE FUKUYAMA

POINT OF VIEW



見学の後はおいしい給食の時間

## 溝辺

**園児が給食センターを見学**  
6月14日、陵南幼稚園のきく組の園児らが溝辺学校給食センターの見学をしました。  
溝辺地区の小・中学校、幼稚園の1,020食を作る給食センターの児玉栄養教諭は「衛生管理、栄養のバランス、地産地消に注意し、家庭のモデルになるような献立を考えています」と話してくれました。  
園児らは給食を作る様子を見学した後、給食を食べました。メニューは黒糖パン、豆とかぼちゃのシチュー、鮭とサツマイモのピザに牛乳。大住友隆ちゃん（5歳）は「どれもおいしい。いつも残さず食べています」と笑顔で話してくれました。

## MIZOBE

## 横川

**光と音の共演で活性化を図る**  
5月27日、横川地区の山ヶ野ふれあい交流館で「吹奏楽とほたるの夕べ」があり、地区内外から約250人が集まり演奏を楽しみました。  
今回の試みは山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会が実施。過疎化と高齢化が進む山ヶ野を活性化させようと初めて開催されました。  
ここはホテルの名所としても知られており、この日もホテルが飛び交う中、演奏を楽しむ予定でしたが、あいにくの雨で急きょ室内での演奏となりました。観客は霧島吹奏楽団が奏する素晴らしい音色に聞き入っていました。

## YOKOGAWA



素晴らしい音色に聞き入る観客

## 牧園

**学校の枠を超えともに学ぶ**  
6月7日、三休小学校と持松小学校の1・2年生15人が交流学習をしました。  
小規模校の児童が交流学習という集団生活を通して、人間関係や社会性を培うことを目的とし、毎年1回実施しています。児童らは力を合わせて交流記念作品の製作に取り組みんだり、体育活動でボール運動などしたり、給食も一緒に食べるなど楽しく過ごしました。  
初めて他校と交流する児童もいましたが、すぐに打ち解けた様子で、宇都口佳紘くん（三休小1年）は「友だちが増えたらうれしい。すぐ仲良くなったよ」と話していました。

## MAKIZONO



記念作品作りに仲良く取り組む両校の児童

## 霧島

**五穀豊穡を願いお田植え祭**  
6月10日、霧島神宮斎田で毎年恒例のお田植え祭がありました。  
田の神舞が奉納された後、早男、早乙女にふんした参加者や霧島小学校の児童ら総勢90人が整列し、50坪の田に苗を丁寧に植えていきました。  
霧島神宮は天照大神より国を治めよと命令されたニギノミコトを祀っており、この行事はそのニギノミコトが初めて水稻を作ったといういわれに由来した伝統行事で、五穀豊穡を願って行われています。  
今後は10月に同校児童らが収穫した後、神宮に奉納され新嘗祭が行われる予定です。

## KIRISHIMA



一列になり丁寧に苗を植える早男・早乙女ら

## 隼人

**鮎漁解禁・鮎まつりに8千人**  
好天に恵まれた6月4日、隼人地区の日当山温泉公園で鮎まつりがあり、家族連れなど約8,000人が訪れました。  
天降川河川敷の公園には時間前から、鮎めしや鮎の塩焼きコーナーに長蛇の列ができました。塩焼きコーナーの鮎は1匹50円。自分で塩をつけ、炭火を開いた長い囲炉裏でこんがり焼きます。日当山小学校4年の崎山遼君と弟の朗君は「始めてきたけど鮎はおいしいです」と話してくれました。  
また、魚のつかみどりでは大勢の子どもたちがびしょぬれになりながら、50匹もあるコイや鮎を必死に追いかけていました。



こんがり焼けた鮎の塩焼きに舌鼓

## HAYATO

## 福山

**ヒラメ放流でさかなの宝庫に**  
梅雨の合間の6月14日、福山地区福山海岸沖でヒラメの稚魚放流がありました。  
このヒラメの放流は「つくり育てる漁業」の一環として、鹿児島県栽培漁業協会が主体となった「豊かな海づくりパイロット事業」により毎年行なっているもので、今年約3,300匹の稚魚を放流しました。  
稚魚は2月15日にふ化したもので、最小70mm、最大86mmあり、2〜3年で1kg程度になるそうです。  
このほかにも真鯛の放流やイカシバの投入が行われるなど、錦江湾を魚類の宝庫にする事業が進められています。



船上から錦江湾にヒラメの稚魚を放流

## FUKUYAMA

## 国分

**第一中学ワールドカップ出場**  
5月30日、国分の第一中学校の3人が市役所を訪れました。  
4年に1度開かれるサッカーワールドカップ。今年ドイツで開催される大会に第一中学校の3人が、コカ・コーラジュニア親善大使として、6月18日の日本対クロアチア戦の試合前に選手を先導し、国旗を持ってピッチに入場する「フラッグベアラー」に選ばれました。  
選ばれた小田原拓君、日野恵さん、中西翔悟君の3人は「外国の人と交流を深め、サッカーを通して仲良くなりたい。他の国の親善大使とみんなワールドカップを盛り上げたい」と抱負を話してくれました。



フラッグベアラーに選ばれた3人が市役所を訪問

## KOKUBU



図書館へ行こう

**帝** 都衛星軌道 (島田荘司) 押入れのちよ (荻原浩) 現代に生きるケインズ (伊東光晴) ルポ改憲潮流 (斉藤貴男) 膨張中国 (読売新聞中国取材団) みばりのえくぼ (岡田典子) 鮎食の海 (チャールズ・クローバー) 気がつけば彼を見ている (内田春菊) おとぎ話の忘れ物 (小川洋子) 銀の弦 (平谷美樹) 人生、これからは本番 (日野原重明) テレビと権力 (田原総二郎) 十津川村天誅殺人事件 (西村京太郎) おばあちゃんがくれたもの (なかもらみつる) この地獄から、ぼくを助けて (キャロル・エゴン・ラミ) 真夜中の魔法 (ミシェル・タナウエイ) リスとアリとゾウ (デイジー・ムラースコヴァー) 都会のトム&ソーヤ (はやみねかおる) ももんち

やんぼつぼー (とよたかずひこ) (国分図書館) **減** びゆく国家 (立花隆) 暮らしの中のやさしい科学 (中野不二男) 典子44歳いま、伝えたい「典子は、今」あれから25年 (白井のり子) お火役凶状「祇園菓社神灯事件簿4」(澤田ふじ子) 13歳から始める「株とお金」のはなし (森本卓郎・監修) ねえねえあそぼ (ガースウィリアムズ) 平和の種をまく ポニアの少女 エミナ (大塚敦子) (隼人図書館)

「知りたい、読みたい、図書館へ！」  
今月の新刊。

**聞き屋と平** 宇江佐 真理 著 江戸・両国。養種屋の隠居・与平は、日が暮れると別の顔になる。町行く人々が抱える人生の悲喜こもごもをひたすら受けとめる「聞き屋」になるのだ。思わず語ってしまう胸のうち。人の心の機微を描く連作時代小説。

**塾前ごはん 塾後ごはん** 森野 真由美 監修 乱れがちな「塾の日の夜」の食生活。子どもの健康を守り、かつ勉強効率までアップする、簡単健康料理を紹介。集中力、記憶力がアップする塾前ごはん、疲れをとり、おなかにやさしい塾後ごはんなど、作り方の法則を大公開!

**リベックじいさんのなしの木** ナニー・ホグロギアン 絵 テオドル・フォンターネ 文 リベックじいさんの屋敷には、梨の木が1本ありました。お星の鐘が鳴りびびくと、かごがいっぱいになるほど梨をもいで、村の男の子や女の子にわけてあげました。そんなリベックじいさんが、天国に召される日が近づいてきて...

**アキンボとアフリカゾウ** アレグザンダー・マコール・スミス 作 アキンボは、サバンナにいるゾウをながめるのが大好き。ある日、密猟者に殺された母ゾウと、そばに残された赤ちゃんゾウを見て、強い好奇心がこみ上げてきました。密猟をやめさせるには、どうしたらいいのだろうか...

霧島市立図書館に  
おいでください。

- 霧島市7カ所の図書館(室)で本が借りられます。
- 国分図書館** / ☎64-0918
    - ① 9:30~21:00
    - ② 12月29日~1月3日
  - 隼人図書館** / ☎43-7574
    - ① 平日 / 10:00~19:00
    - 土・日・祝日 / 9:00~17:00
    - ② 月曜日
    - 12月29日~1月3日
    - 特別整理期間 / 11月中10日以内
    - 【夏休み期間】
    - 平日 / 9:00~19:00
    - 土・日・祝日 / 9:00~17:00
    - ※ 夏休みは、月曜日も開館します。
    - ※ 休館 8月13・14・15日 (図書館消毒のため)
  - 満辺図書館** / ☎58-3191
    - ① 8:30~19:00
    - ② 12月29日~1月3日
  - 横川図書館** / ☎72-1596
    - ① 9:00~17:00
    - ② 火曜日・祝日
    - 12月29日~1月3日
  - 牧園図書館** / ☎78-3349
    - ① 8:30~19:00
    - ② 12月29日~1月3日
  - 霧島図書館** / ☎57-0316
    - ① 月・水・金 / 8:30~17:00
    - 火・木・土 / 8:30~20:00
    - ② 日曜日・祝日
    - 12月29日~1月3日
  - 福山図書館** / ☎56-2026
    - ① 8:30~17:00
    - ② 土・日曜日・祝日
    - 12月29日~1月3日
- 【①開館時間 ②休館日】



学校へ行こう

感性豊かで活力溢れる学校

子どもが地域を元気にし、地域が子どもを育てる小さな学校

中福良小学校  
泥んこ遊び



1年生から6年生までみんな仲良し

隼人地区の中福良小学校は、明治23年の創立で今年116年を迎えます。児童数は42人で3年と4年、5年と6年が複式学級。この小学校では平成12年から小規模校入学特別認可制度(特認校制度)を利用して、昭和50年に小学校の統廃合問題が出たとき、地元小学校を残したいという思いから「中福良小学校を守る会」が発足。その後、PTAはもちろん、地域住民の皆さんが学校存続のために町の教育委員会と協議を重ね、現在の特認校制度を取り入れることになりました。この制度は豊かな自然環境に恵まれた特性を生かして、心身の健康増進・体力作りと自然に触れる中で学ぶ楽しさ、豊かな人間性を培い、学校と地域の活性化を図ることを目的としています。最初は地元10人、特認生が4人でしたが、その後、数も増えて現在は地元が7人、特認生が35人の42人になりました。

**自然で遊ぶ**  
同校では米作りやそば打ち体験、J R肥薩線の嘉例川駅で開かれるイベントなどにも合唱で参加するなど、地域の特性を生かした取り組みをしています。

**V O I C E**

◎中福良地区  
鎌田 遙さん

小学校の行事には周りの協力が欠かせません。学校の奉仕作業にも地域の皆さんが草刈り機や、鎌などを手に集まり、運動会では卒業した中学生や地元青年団、消防団なども用具係や出発係などを担当、そば打ち体験ではおばあちゃんたちがそばの打ち方を教えていたりします。今回の泥んこ遊びも同様で、8年前に田植えや泥んこ遊びの話をもちかけた近所の鎌田さんは、「学校に通っている子どももですが、卒業した子が声をかけてくれることがうれしいです」と話してくれました。

取材に行った日は、次の週にする田植えの前に田んぼで泥んこ遊び。小雨が降り、少し肌寒い中子どもたちは水着に着替え、頭も顔も泥だらけ、先生たちも一緒に泥投げを楽しんでいました。宮内小学校から来た6年生の岩切宏輔君は「気持ちよかったです。中福良小学校は自然があって楽しい、1年から6年まで仲良く遊んでいます」と話してくれました。



きりしま

# 旬素材

食べてみゃんせ。



霧島山麓で採れたレイシ、かぼちゃ、きゅうり、なす、トマトなど、好きな野菜を氷水にさらして、シャキッとした食感でお召し上がりください。

◎夏秋きゅうり生産者  
(横川町上小脇)  
本村 忠一さん  
リツ子さん

ひんやりとする朝露が立ち込める中で、うぐいすや虫が鳴き、朝露が大きな固まりとなってぼたぼたと落ちる。畑に一歩足を踏み入れるとみずみずしい青い野菜の匂いがします。朝7時、標高300以上の横川地区桜本のきゅうり畑。

「自分の思ったとおりのものができるとうれいですが、技術を習得するまでが大変で、私は10年かかりました」と横川地区上小脇の本村忠一さん。横川の物産館「よいやんせ」にはかぼちゃやトマト、なすなどの色とりどりの夏野菜が並んでいます。そこにきゅうりを出している本村さんは、中学卒業後、養蚕などを27年、その後きゅうり作りに切り替え20年間作り続けてきました。20年前30戸あった生産者は今では12戸になりました。横川は夏秋きゅうりとして

昭和51年から国の指定産地になっています。一年中出回っているきゅうりですが本村さんのところでは収穫時期は年2回、6月中旬から7月までと9月から10月ごろです。一人で収穫できる量は10<sup>kg</sup>。妻のリツ子さんと鮮度が一番大事なきゅうりを、朝5時から採り始め8時半ごろまでに収穫します。最盛期ともなると朝5時から昼の12時ごろまでかかります。この日は約1、200本を収穫。

適切な剪定と追肥などが多くの実りを与えます。「手をかければかけるだけ、愛情を込めて作ると作物はそれに応えてくれます」と収穫の手を休めてしばし話してくれました。  
横川物産館「よいやんせ」 ☎(64) 6088

## 標高300メートルの畑から もぎたて野菜を使った 夏の簡単レシピ

疲れやすい夏。普段以上にしっかり栄養を取りましょう。夏を乗り切るパワーの源、野菜。夏が旬のきゅうりは96%を水分が占め利尿効果があります。でもビタミンCを分解する酵素を含むので、栄養を第一に考えるときは、酢で酵素の働きを抑えることもできます。

### トマトとセロリで 夏野菜の冷たいスープ

(材料・5人分)  
フレッシュトマト2個 セロリ1本 にんにく1個 だし汁(こぶ) 500cc 塩少々  
(作り方)  
①フレッシュトマトを湯むきし、セロリとにんにく、だし汁をミキサーにかけ、塩で味をととのえる。  
②好みの夏野菜を冷やした器に盛り付け、①のスープを注いだら出来上がり。

### 夏野菜と霧島鶏の黒ごま 風味冷やしソーメン

(材料・5人分)  
玉ねぎ1/4個 にんにく1個 砂糖小さじ2 酢小さじ3 黒ごまペースト小さじ1 マヨネーズ小さじ2 サラダ油小さじ1  
(作り方)  
①玉ねぎ、にんにく、砂糖、酢、黒ごまペースト、マヨネーズ、サラダ油をミキサーにかけ、たれを作る。  
②好みの夏野菜と茹でた霧島鶏を冷やしたソーメンにのせてそのまわりに①のたれをかけたら出来上がり。

トマトとセロリで  
夏野菜の冷たいスープ

夏野菜と霧島鶏の  
黒ごま風味  
冷やしソーメン



# 人の風景

THE SCENE

## 霧島に生きる

文房具店2階奥の作業場。そこかしこに置かれた紙人形。「作るだけで飾るところがなく」と笑顔で迎えてくれた赤塚艶子さん。地域情報や九州ケーブルテレビの番組表などを掲載している「モニターガイド」をご存知でしょうか。その表紙を飾っているのが赤塚さんの紙人形です。月に一作品を制作しています。

国分中央の赤塚さんは大正8年創業の印刷業と文房具の店を継ぎ夫の恒治さんと営んできました。幼いころから新聞を印刷できるほどの大きなロール紙など紙はごく身近にあったそうです。

色とりどりの紙に一本一本シワを刻み、丸みを出し、そして目や口のない人形が、その場の楽しさや愁いを身体の動きだけで表現します。紙人形を作り始めたのは今から20年ほど前のこと。長男のお嫁さんから「紙人形をしてみたら」と言われたのがきっかけで、最初は本を見ながら作っていましたが、そのうち本だけではわからないところもあって教室に通い始めたそうです。人形作りで大切なのは基礎で、平たい紙人形から始まり立体的なものへと進みます。わからなくなると今でも昔書いたノートを見直したりするそうです。

人形を作る楽しさは「1週間かけて針金で芯を作り、綿をまきつけて胴体を作る。そして着物を着せるのに1日から2日かけて作り上げます。そのときの充実感がいいですね」と話します。

夫の恒治さんは出来上がった作品を批評します。「やっ」と作り終えた作品を悪く言われると腹もちますが、よく出来たときには誉めてくれるのでそれが励みになります。もし、夫がいなかったら作品を作り続けていなかったと思います。作るだけでなくどこかに展示できたらいいですね」と話す赤塚さんでした。

紙に命が宿る  
楽しさと  
愁いを表現

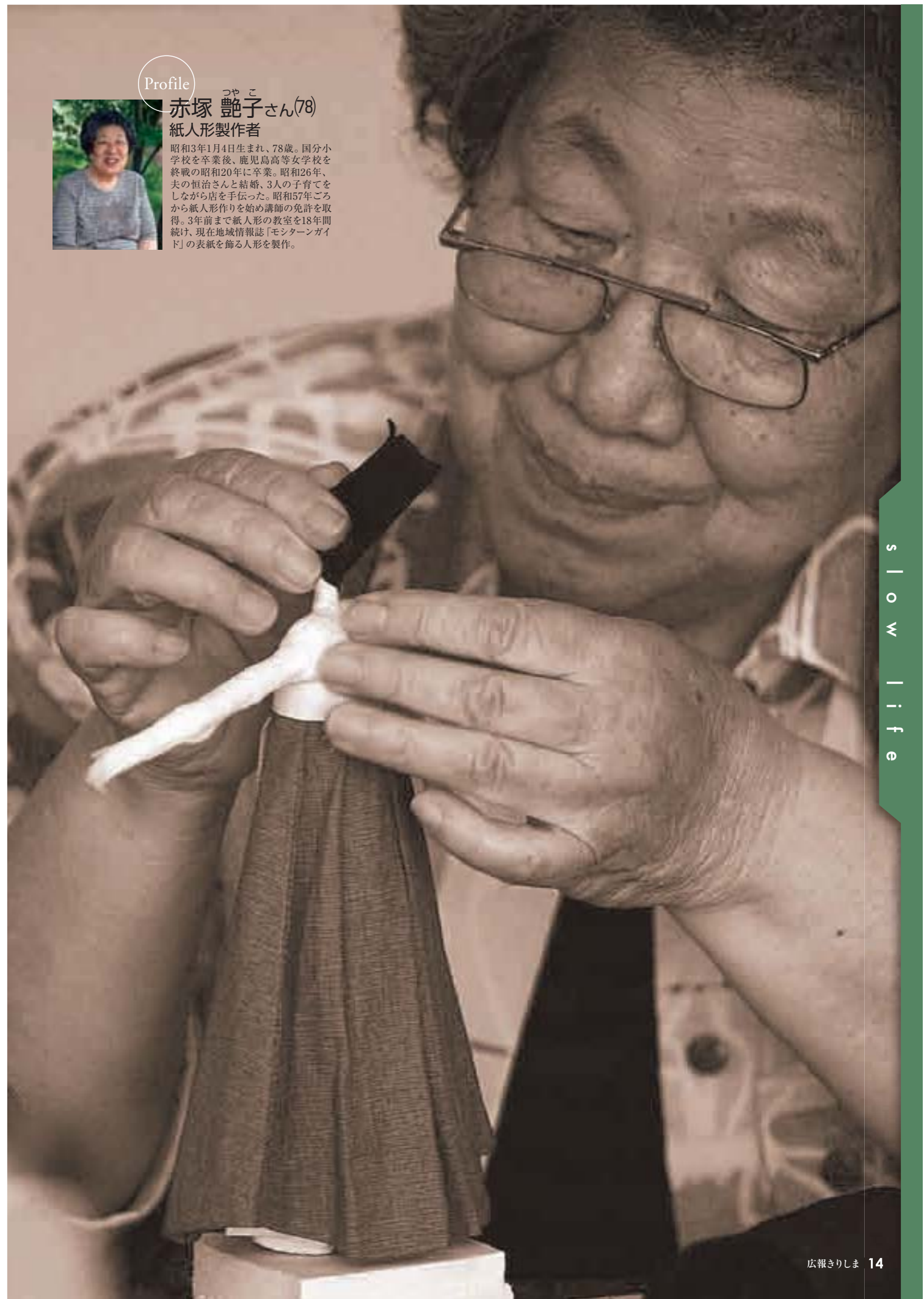


Profile



赤塚 艶子さん(78)  
紙人形製作者

昭和3年1月4日生まれ、78歳。国分小学校を卒業後、鹿児島高等女学校を卒業の昭和20年に卒業。昭和26年、夫の恒治さんと結婚、3人の子育てをしながら店を手伝った。昭和57年ごろから紙人形作りを始め講師の免許を取得。3年前まで紙人形の教室を18年間続け、現在地域情報誌「モニターガイド」の表紙を飾る人形を製作。





このページは第一線で活躍する専門家に寄稿していただきます。霧島市に何らかの形でご縁のある方々で、縁のあった「人」「自然」「文化」などを題材にシリーズでお届けします。読者の皆さんが霧島市のよさを再認識したり、新しい価値観を再発見できたりする紙面を目指します。地域づくりを創造する核の一つになれば幸いです。

第3回

# 明日に架ける橋

## 5

月の連休に久しぶりの霧島山麓を散策した。視界の拡がった小高い丘から桜島の方を眺めてみると、萌えるような新緑に覆われた山稜が次第に霞みながら幾重にも峰を重ねている。左手奥には上野原縄文の森、右手にはかすかに空港の滑走路が見え、正面にはまだらかな丘陵を経て国分単人の市街地が拡がり、その先には錦江湾に浮かぶ辺田



霧島山麓から望む絶景。新緑に覆われた山稜が幾重にも峰を重ね、その先に拡がる国分単人の市街地。そんな霧島市を見守るかのようには、桜島がそびえ立つ。

小島、弁天島、沖小島の三島越しに桜島が霞んで見える。何と雄大な光景だろう。そして何とこれらの視界全てが霧島市なのだ。時を忘れてしばし佇みこの景色を眺めていると、こんなにも恵まれた環境の中で、私たちは生かされ、営みをさせていただいているのだと謙虚な気持ちになる。かつてこの地に住んだ縄文人もこれと同じ光景を目にし、同じようなことを感じた

ることができないばかりか、その欠点の裏に隠されている長所や可能性すら捨て去ることになってしまう。自分の持つていないものを互いに認め合い、尊重し合う、まずはそこからがスタートではないか。かつて日本の山村では、障害やハンディキャップを持って生まれてきた子を、その地域に福をもたらす子どもとして、福子とか福助という名前を付けて地域全体で愛しみ、育てていたという話を聞いたことがある。世の中に生まれ出づるものにはかならず存在する意味があり、価値がある。確かに新生霧島市は機能的にながった市であるゆえに少々スケールオーバーという声もある。しかし広い視界に立ってみれば、その雄大なロケーションを、ポテンシャルをわざわざ切り刻むことはなく、むしろその広さを活かすことこそ、この地の大き

な使命のように思えてくる。要らない土地などどこにもない。国分では溝辺の空港やお茶の宣伝を大いにしよう。溝辺では霧島と牧園の温泉やお宿のPRに力を入れ、霧島・牧園は福山や横川の農産物をたくさん使って地元産品のブランド化を促進すれば良い。福山や横川の小中学校では歴史と自然に溢れる単人のロマンを語り、単人では国分での楽しいショッピングの話で、大いに盛り上がる。お互いが互助の精神を持つことによって、自らも他の地域の人々から愛されるまちなっていくものだ。

## 本

年4月、天降川にちようどソニー国分工場とホテル京セラを繋ぐかたちでまた一つ国分と単人を結ぶ橋が架かった。合併してから初めて霧島市内に架けられた橋である。名前も天降川橋と命名された。想えばこの地



国分地区と単人地区を結ぶ「天降川橋」全長155m、幅16mの片側1車線。周辺道路の渋滞緩和を目的として平成10年度から整備を進め今年4月に完成した。



つながりさととし 株式会社エグ・テクノ代表取締役。日本ガス株式会社専務取締役も務める。ラ・サール高校卒業。早稲田大学法学部卒業。平成8年4月、スポーツクラブエルク・テクノをオープンして以来、国分単人地区の健康づくりを推進してきた。近年はスポーツクラブ事業のほかに各自治体への健康指導員派遣や地域の健康づくり施設の運営委託等幅広く事業を拡大しつつある。これまで国分市夢のある都市ビジョン検討委員会委員や九州新幹線開業記念イベント企画委員会委員長なども務めた。

のだろうか。

## 昨

年秋の大合併によって誕生した霧島市は、九州でも極めて高いポテンシャル（可能性）を持つ都市である。海外路線も有し主要空港を除けば日本で最も乗降客の多い鹿児島国際空港を始め、九州と東九州の二つの高速道路に日豊本線と肥薩本線の二つの鉄道、日本で最初の国立公園である霧島屋久国立公園と坂本龍馬も訪れた霧島温泉郷、約9500年前の貴重な縄文集落跡の上野原遺跡に京セラ、ソニーを始めとする世界に誇れるハイテク企業の主力工場や研究所の数々。これらが何と一つの都市に収まっているのだ。こんなに豊富な可能性を有する都市は日本でもそう多くはないはずだが、平成の大合併はむしろこのような機能面を重視したものが大半で、東西ドイツの統一やかつての沖縄返還のような、悲願や宿命付けられたものではない。いわば生き残りを懸けた企業合併に似ている。そういう意味において、新しいまちが空港も高

速も鉄道も国立公園も温泉も古墳もハイテクも持ち合わせているということは何と幸せなことだろう。しかし、これらが互いに連携し合って、大きな力となるためには、共に助け合い、磨き合う共生・協働の心が必要である。

プロ野球やサッカーの試合を見ていると、トッププレイヤーがひしめくチームの方がかえってまとまりがなかったり機動性に欠けていたりして、案外と優勝しない。むしろスター選手は少なくても、互いの欠点を補い合う互助の精神と絆を有するチームのほうがまとまっていて、最終的に優れた結果をもたらすことが多い。ラグビー選手が良く口にする「ワンフォーオール、オールフォーワン（一人はみんなのために）」とはまさにその核心を突く言葉であろう。どんな人間にも組織にも欠点はある。その欠点を補おうとせず、気分がいふりをしたり無視して逃げたり、まして非難したり切り捨てたりしても、その欠点から逃れ

はいくつもの川や水路を持った水の都。長い歴史の中で、数多くの橋を渡して繁栄してきた。しかし今後もこの地域にはまだまだたくさんさんの橋が必要である。単に川を渡る橋だけでなく、市町村の垣根を跨ぐ橋、進出企業と地場企業を繋ぐ橋、あるいは域外からの流入者と地元の人たちを交流させる橋、若年層と昔から住んでいる長老たちとの会話の橋、そして健常者と障害者を持った人や介護の必要がある人々を繋ぐ命の橋。そんな橋がたくさん作られることによっ

## 縁

て、まちは次第にひとつになっていく。あつてこの地に会社を創業して今年でちようど10年になる。その間地域の皆さまには本当に温かく育てていただいたと感謝している。実は私の祖父はこの地の出身であり、祖父が生まれたと思われる静かな山村には自分の匂いに近いものを感じる。ささやかではあるが自分自身も霧島市に架かる小橋として地域に恩返しできれば幸いである。

# エッセー

## 地域

# づくり

津曲 貞利

Tsunagata Sadatoshi



**咽頭結膜熱(プール熱)と流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の流行に注意**

○咽頭結膜熱Ⅱ発熱(38度〜39度)、咽頭炎(のどの痛み)、眼症状(結膜充血、涙液、眼脂等)を主な症状とする急性ウイルス性感染症です。アデノウイルスが原因で、感染経路としては、通常飛沫感染(せきやくしゃみ等)、あるいは手指を介した接触感染で、結膜あるいは上気道から感染します。夏のプールを介して流行することから、プール熱と呼ばれることもあり

ます。6月ごろから徐々に流行し、7〜8月にピークとなります。例年夏期に向けて患者が増加しますので注意が必要です。※予防するにはⅡせきやくしゃみその他、タオルやドアの取っ手などを介して感染するので、次のことに気をつけましょう。

- ・流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行する。
- ・感染者との密接な接触を避ける(タオルを共有しないなど)。
- ・プールでの水泳前後にはシャワーを浴び、目をしつかり洗い、うがいをする。

○流行性耳下腺炎Ⅱ2〜3週間

の潜伏期を経て、唾液腺の腫脹・圧痛、嚔下痛、発熱を主症状として発症し、通常1〜2週間です。ムンプスウイルスが原因で、感染経路としては、通常飛沫感染(せきやくしゃみ等)、あるいは患者の唾液で汚染されたものと接触して感染します。両側の耳下腺が腫れるとおたふくかぜと呼ばれることもあります。年間を通して患者発生がみられますが、今年はその同時期と比較して、流行のさざしがみられるようです。

※予防するにはⅡ流行を防止す

るには、予防接種(任意)をすることで可能となります。

- ・流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行する。
- ・感染者との密接な接触を避ける(タオルを共有しないなど)。
- ・以上のことを心がけましょう。

**夏野菜で夏ばてを防ごう**

これまで日本人の食生活は、春夏秋冬の季節に合わせて、自然が提供してくれる食材に親しむ、「旬」を味わってきました。「旬」の食べ物には、移り変わる四季の中で生きていく日本人の体をその時期に合わせて助けてくれる作用があります。

夏野菜は、食べる部分が茎や蔓からぶら下がって育つ、ぶらり野菜(果菜)が主流です。夏の太陽を浴びた路地ものの野菜はビタミン類が豊富で、暑さで停滞しがちな新陳代謝を促進してくれます。その他、たっぷり含まれた水分は体温を下げ適度に水分を補給し、また暑さゆえに取れすぎた水分を排泄してむくみを解消する働きもあります。ねばねばしたためり成分を含む野菜には、胃の粘膜を保護し食欲を増進させる作用があります。「旬」の夏野菜を味わい、夏ばてを予防しましょう。

**始めてみよう 環境家計簿**

環境家計簿は、家庭で身近に取り組める節電、節水、ゴミの減量化などの結果を二酸化炭素の排出削減の面と家計節約の面から毎月チェックできるように作られています。「地球にやさしい県民運動」で提案されていて、節電等省エネルギー、節水の有効利用、省資源・ごみの減量化など具体的行動の取り組みをさらに進めていく上での参考としていただくため作成されたものです。

**環境家計簿とは**

環境家計簿は、消費者が楽しみながら、また、家計費の節約を励みとしながら自然や環境に配慮したライフスタイル、特に地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を少なくするライフスタイルに変えていくことができるようになることを主眼において作成されています。

具体的には、電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーやゴミの量をチェックすることにより、家庭生活に伴う二酸化炭素の排出量が計算でき、同時に家計のチェックにも役立つようになっ

**地球温暖化とは**

地球の気温は20世紀の間に0.4〜0.8℃上昇しました。とりわけ1995年以降の高温傾向が顕著で、このまま進むと2100年には1.4〜5.8℃上昇すると予測されています。

地球温暖化による海面上昇で海に沈む島がたり、地球規模の食糧危機や大規模な災害、熱帯の病気の北上などが心配されています。

地球温暖化の原因は、大気中の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)など温室効果ガスの濃度が増えることにある

ります。

特に二酸化炭素は石油などの燃料を燃やすときに大量に排出されます。

**地球にやさしい県民運動とは**

- ・運動の目的
- ・私たちの日常生活や通常の事業活動において、電気や燃料の消費、自動車の使用、ごみの排出など身近なところから、地球環境の保全のための具体的な実践活動に取り組み、かけがえない地球環境を守り育て、次の世代に引き継いでいくことを目的としています。

できるところから記入をはじめましょう。

最初の1カ月は、現在の生活の状況のままをつけて基準月とします。

その後は、自分で削減目標例えば10%を定め、継続してつけてみましょう。

※回覧した環境家計簿は、環境衛生課又は各総合支所においてあります。

○問い合わせ先Ⅱ環境衛生課生活環境政策係(64) 0950 または各総合支所環境衛生係

**第42回 霧島国分夏まつり**

開催日Ⅱ7月15日(土)・16日(日)



・イベント内容  
7月15日(土)  
・オープニングセレモニー  
・市中パレード  
・霧島総おどり  
7月16日(日)  
・子どもみこし  
・元氣みこし  
・舞鶴御輿  
・国分寺御輿  
両日開催  
・ちびっこ広場  
・霧島市お祭りブース(ふるさと特産市パネル展示)  
・山形屋前特設ステージ

・八坂広場

**霧島総おどり**

当日は飛び入り参加も受け付けます。2時間、おはら節、ハシヤ節を交互に踊りみんなど一緒に盛り上がりましょう!なお、山形屋前特設ステージで午後6時30分から踊りの講習会も実施します。お気軽に飛び入り参加してみませんか!

○問い合わせ先Ⅱ霧島国分夏まつり実行委員会 国分中央3-12-41 霧島商工会議所内☎(45) 0313 84(45)

**お祭り専用バスのご案内**

当日は交通渋滞が予想されますので、専用バスを利用してください。7月15日(土)・16日(日)両日ともに午後4時から各コース運行をします。また各コースとも最終便は午後10時(規制解除時)とします。

**発着所(人材育成センター)**

- ① 単人町(単人駅方面・日当山駅方面)線
- ② 横川町・溝辺町線
- ③ 牧園町・安楽・妙見線
- ④ 単人町(小野・小浜)線
- ⑤ 国分・重久・清水線
- ⑥ 霧島線
- ⑦ 霧島線
- ⑧ 霧島線

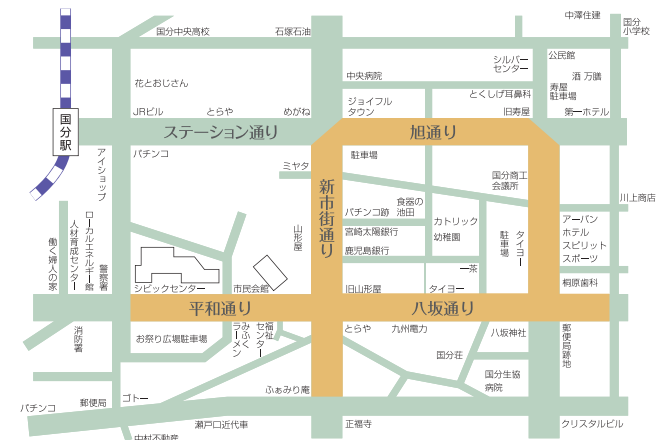
**発着所(第一ホテル前)**

7 福山線  
8 福山町牧之原線  
9 国分・下井・敷根線  
10 国分・広瀬・福島線

※詳細は、7月14日(金)の朝刊折込みの夏まつり告知版にてお知らせします。全区間均一運賃片道100円(小学生以上) 幼児無料

主催Ⅱ霧島商工会議所  
共催Ⅱ霧島市  
主管Ⅱ霧島国分夏まつり実行委員会  
<http://www.kirishima-cior.jp>

※お願い  
まつり当日は市役所周辺において交通規制を行いますので、ご協力をお願いします。  
・日時=7月15日(土)・16日(日)午後4時~10時  
・場所=新市街・平和・八坂・中央・旭通り







郷土史への扉

溝辺城は、薩・隅・日の地理纂考(薩摩・大隅・日向の一部の地誌を編集したもので、明治十年ごろ完成)に「溝辺城ハ溝辺村(今ノ麓)ニアリ元弘ノ頃、溝辺孫太郎居城ナリ。事跡詳ナラス」とあります。溝辺城は、鎌倉時代の末期、後醍醐天皇(第九十六代)元弘二年(一二三二年)ごろ、溝辺孫太郎という豪族の居城(山城)として築かれたと伝えられています。

溝辺城は、昔から城山と呼ばれています。これは、江戸時代、薩摩藩の城の形態が「館造り」(地頭所)と「詰城」になっており、詰城のことを城山と呼んでいたためです。薩摩藩内には、城山という山城がたくさんあります。代表的なものは、鶴丸城に城山(鹿児島)、舞鶴城に城山(国分)などがあります。

城の形状は、南北約四百メートル、東西約五十メートルの細長い丘陵地で、北側から林道が内部に伸びており、この辺りが城の入口と思われる。この林道を奥に進むと、人力によってなされたと思われる切り通しの跡や、井戸と思われる跡が確認されています。頂部は、比較的平坦に土がならされ、いく

つかの段状になっているなど、山城としての形状がうかがわれます。

### 肝付兼固の時代

時代は流れ室町時代の中ごろ、肝付越前守兼固が四千五百石を領する溝辺城主となりました。以来、子兼演とともに力を合わせ、溝辺郷の治世に励み、兼演の働きによって大永六年(一五二六年)には辺川(現加治木町辺川)を与えられました。

さらに、天文三年(一五三四年)には鳥津勝久から新しく加治木領を与えられ、

## 山城の語るみぞぶの歴史

溝辺、辺川、加治木を併領する領主となり、加治木城に本拠を移しました。この進出の時には、家臣十九家と、その他十八家の者たちを従えて加治木へ移動しました。

その後、肝付家は兼演―二代弾正忠兼盛―三代弾正忠兼寛―四代三郎五郎兼三―まで四代の間、天文三年から文禄四年(一五九五年)までの六十一年間、溝辺、辺川、加治木の地域を治めてきましたが、豊臣秀吉の九州征伐の際、鳥津義久は秀吉に降伏し、その結果、加治木、溝辺、日当山は豊臣秀吉の直轄地となり、石田

瑞泉山心慶寺跡



溝辺城跡



治部少輔三成がその代官となりました。文禄四年(一五六一年)、島津領内の所領替えにより肝付氏は薩摩国喜入、宮村、清水村の領主となって喜入に移ることに。この時溝辺よりお供した家臣旧家と、さらに加治木の家臣たち多数を従えて移転しました。

### 瑞泉山心慶寺

瑞泉山心慶寺は、肝付越前守兼固が溝辺の領主となり溝辺城へ移転後、肝付家の菩提寺として建立されたもので、宗派は曹洞宗、福昌寺(鹿児島)の末寺です。本尊は地藏菩薩で開山は心慶良信和尚(福昌寺五世)でした。兼固の父、肝付越前守兼光の「法名」心慶をとって名づけたものと思われる。

心慶寺の場所は、溝辺城の南西に位置し、水田を眼下に見る山の裾野にあります。地形から判断すると、少し山手に位置していたものが長い年月を経て、土砂崩れ等により現在の地に流れ出たものと思われる。

周囲は山林と化しているものの、三基の住僧の墓碑やその他の者の墓碑と、お寺の門前周辺にあったと思われる常夜燈の石燈があるなど、昔の名残を留め、廃墟の跡のむなしさと物寂しさを物語っています。

三基の住僧の墓碑のなかの一つが貫周という僧侶の墓であることが確認されています。

溝辺町郷土誌引用

### 歯周病

M E D I C A L L E C T U R E

## やさしい医療講座

霧島市立医師会医療センター  
副院長／本坊健三



### 医療技術の進歩と医療費低減への取り組み

今回は医療技術の進歩と医療費低減への取り組みや霧島市立医師会医療センター・外科の現状を紹介いたします。

外科手術は毎年進歩し、約30年前のころのメスと鉗と糸の世界から大きく変わりました。電気メス、電気鉗、超音波凝固切開装置、アルゴンビーム凝固装置、マイクログ波凝固装置などの数々の手術道具が開発され、糸も多くの種類の吸収糸やナイロン糸が出現しています。凝固剤も生理的組織接着剤や生物学的組織接着剤が数多く出てきました。このため手術時の出血量が現在では極めて少なくなっています。しかし基本動作は縫う、結ぶ、切る、焼く、の4つです。人間のすることですから、大量出血に備えて輸血の準備は必ず行います。自動縫合器や自動吻合器も大いに進歩しました。食道、胃、結腸、直腸などほぼ全ての消化管で自動縫合器や自動吻合器を使います。手縫いの時代に比べ手術時間が短縮され、縫合不全の数が減少しました。縫合不全数の減少は医療費を抑えるという点で莫大な効果を生み出しました。また直腸の手術ではあまりに肛門に近いと従来では直腸切断術といって人工肛門を作りましたが、自動縫合器の改良が進み肛門を残すことのできる超低位前方切除術が増えてきました。このことは患者さんのQOL(生活

の質)を向上させることに貢献しています。

さらに大きな手術法の変化は腹腔鏡下手術の進歩です。これは炭酸ガスで膨らませたおなかを胃カメラのような可動性の先端を持つ細いカメラを入れて、臓器をテレビモニターに映し出し観察しながら細い鉗や把持器で手術を行う方法です。胆石症手術では標準的な方法になりました。この手術法のメリットは患者さんへの負担が小さいため、回復が早くなり入院期間が短縮し医療費の低減につながることで。最近では胃、結腸、直腸手術も腹腔鏡下で行われるようになってきました。

入院日数を短縮する他の方法としていくつかの取り組みをしています。一つは、手術前の検査を外来通院で済ませる方法です。つまりCT、超音波検査、心肺機能検査、胃カメラ、大腸カメラなどの検査を済ませてから手術日の前日、もしくは2、3日前に入院していただいています。患者さんでもできるだけ通常の生活を続けながら手術の準備ができるようになります。

またクリティカルパスの導入も入院短縮には有効でした。パスとは手術前の準備と治療を統一し医療内容の均一化、標準化を図る方法で一定期間での退院が可能になります。このような入院短縮法を実施しますと、当院での胆嚢摘出術では8日の入院期間となります。

病院経営という面からは甚だ矛盾する努力ですが、国の進める医療費削減と患者さんのニーズに合わせるため、また経営

の安定を図るためにも多くの患者さんに来ていただけるように各医療機関はこのような努力をしています。

### 医師会医療センター外科の現状

外科は本坊以下5人体制で日々の診療活動を行っています。

昨年1年間の手術内容は全身麻酔、腰椎麻酔で399例、局所麻酔30例を行っています。消化器がんを主体にしていますが手術だけでなく抗がん剤の化学療法も組み合わせてやっています。この化学療法は近年効果が高まり、がん治療の有力な手段となってきました。またがんの痛みの治療も緩和ケアチームをつくって行っており、がん治療を総合的に進めております。

腹腔鏡下手術は59例で行いました。この手術は胆嚢摘出、虫垂切除、胃切除、回盲部切除、上行結腸切除およびS状結腸切除で行っています。いまのところ適応を選びながらという段階です。

ヘルニア手術はこれまでメッシュ・プラグ法と、PHS法をやっていましたが4月からMESH法を採用しております。採用理由は本来のヘルニア防止機能を損なわず、神経損傷が少ないと考えたためです。日帰り手術として市民に提供できると信じています。また下肢静脈瘤手術は現在2泊3日で提供しています。

今後は腹腔鏡下手術への取り組みを強化すること、日帰り手術の導入を促進することを考えています。



**お知らせ**

**研究成果発表会のご案内**

鹿児島県工業技術センターでは、研究成果を広く県民の皆さまに広報する目的で平成18年度研究成果発表会を開催します。

- ・日時 7月20日(木) 午後1時～4時55分
- ・会場 県工業技術センター(大会議室)
- ・定員 120人
- ・参加費 無料

◎申込・問い合わせ先 鹿児島県工業技術センター企画情報部 ☎(43) 5111 FAX(64) 2111 E-mail: info@kago-shina-it.go.jp

**地上デジタルテレビ放送への完全移行**

地上デジタルテレビ放送は、2003年12月1日から関東、中京および近畿の一部において開始され、2006年末までには、全ての都道府県庁所在地で開始されることとなっています。現行の地上アナログテレビ放送は、地上デジタル放送への移行に伴い、2011年7月24日までに終了します。

地上デジタルテレビ放送の視聴方法など受信に関する相談、お問い合わせは、左記へお願いします。

◎問い合わせ先 受信相談



**人権セミナーはやく人形浄瑠璃**

- ・演目 春よこい箱廻し三番 斐えびす舞に思いをよせて
- ・出演 辻本一英他
- ・日時 8月5日午後1時30分～3時10分(受付午後1時)
- ・会場 霧島市単人農村環境改善センター
- ・対象者 一般市民(入場無料)

◎問い合わせ先 単人出張所生涯学習課 ☎(42) 1111

【手話通訳有】

**募集**

**男女共同参画セミナー**

自分のための生き方がし、よりよくゆたかに暮らすために

お茶とお菓子をいただきながらの気軽な会です。

◎溝辺会場

- ・日時 8月5日(土) 午前10時～正午

◎問い合わせ先 単人総合支所産業振興課商工観光係 ☎(42) 1111



市からのお知らせや募集などの情報をお届けします。詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

り実行委員会事務局(社団法人霧島観光協会内) ☎(78) 2115 FAX(78) 3487 E-mail: info@kishima-kankou.com

・場所 市営の駅「語らいの駅」

- ・申込締切 7月28日(金)
- ◎横川会場
- ・日時 8月10日(木) 午後7時～9時
- ・場所 横川健康温泉センター
- ・申込締切 8月4日(金)
- ・講師 はやくと草の根講師の会
- ・定員 各会場20人(先着順)
- ・参加料 300円程度(お菓子等の実費)

◎申込・問い合わせ先 企画政策課男女共同参画推進係 ☎(64) 0914 溝辺総合支所総務課総務係 ☎(59) 3111 横川総合支所総務課地域振興係 ☎(72) 0511

**第21回霧島高原太鼓まつりボランティアスタッフ募集**

- ◎第21回霧島高原太鼓まつり
- ・期日 8月19日(土)・20日(日)
- ・場所 しまやまコンサートホール・野外音楽堂
- ◎募集スタッフ 舞台係(10人) 出演者係(10人) 会場係(15人)
- ◎応募方法 住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号を記入の上、7月25日(火)までに実行委員会事務局へご連絡ください。
- ◎応募先 霧島高原太鼓まつり

**第2回市内史跡めぐり「きりしま歴史散歩」参加者募集**

霧島市内の史跡めぐりを次のとおり開催します。今回のテーマは「名勝地めぐり」です。

- ・日時 7月29日(土) 正午～午後4時 ※小雨決行
- ・集合場所 国分シビックセンター市民広場
- ・集合時間 正午
- ・対象者 小学生以上
- ・定員 20人(先着順)
- ・参加費 100円(資料代・保険料)
- ・見学場所 真米颯穴群、犬飼滝、旧田中家別邸

・申込方法 直接、文化振興課へお出でいただくか、電話でお申し込みください。

- ・申込期間 7月13日(木)～26日(水)
- ※定員になり次第締め切ります。

◎問い合わせ先 文化振興課文化財係 ☎(64) 0990

**きりしまっ子集まれ!**

体験学習「青少年ふるさと再発見事業」募集

豊かな自然の中で郷土の再発見をしながら市内の異年齢の仲間とつしよに夏休みに自然体験学習をしてみませんか。

- ・期日 8月16日(水)～18日(金) 2泊3日
- ・内容 (1日目) 上野原縄文の森体験、国際交流(いきいき国分交流センター泊)(2日目) 農業体験(茶もみ・牧園地区)、福山酢醸造所見学、霧島自然ふれあいセンターでキャンプ泊(3日目) 韓国岳登山
- ・募集人員 50人(市内小学4年生～6年生 20人・市内中学生 20人・市内高校生 10名)
- ・個人負担金 参加者1人当たり5,000円(食費、保険料等)
- ・募集締切 7月21日(金)

◎申込・問い合わせ先 生涯学習課生涯学習係 ☎(64) 0926

**鹿児島県「男女共同参画フォーラム」参加者募集**

参画でひらく未来のとびら〜集い、学び、広げよう!

- ・場所 鹿児島県民交流センター
- ・期日 7月29日(土) 午後1時30分～4時
- ・対談テーマ 「共につくるこれからの地域」参画、協働、人権
- ・武隈晃さん(鹿児島大学教育学部教授)、たもつゆかりさん(オフィスビュー代表)
- ◎7月30日(日) ワークショップ 午前10時～
- ①こんな病児保育施設がほしい
- ②ピンクリボン・シンポジウム
- ③乳がんのことと知ろう
- ④いま、家庭内で何が起きているのか? 児童虐待とDV
- ⑤私が私らしくいきるといふこと、言いたいこと話してみませんか
- ⑥女の幸せって誰が決めるの? モテない女は負け組か?
- ・ワークショップ全体会 午後1時30分
- ・講演 「スクール・セクシュアル・ハラスメントの現状と課題」午後3時

◎申込・問い合わせ先 鹿児島県男女共同参画センター ☎0

**市長とランチで語イもんそ会**

1団体6人以内の団体を2団体募集します。参加希望団体は、事前にお申し込みください。

\*都合により開催日を変更する場合があります。

- ・日時 7月20日(木) 正午～午後1時
- ・会場 国分シビックセンター行政棟3階第1応接室
- ・食事代 自己負担(6000円程度)
- ・申込締切 7月13日(木)

◎問い合わせ先 単人総合支所生涯学習課 ☎(42) 1111

**相談**

**女性相談 (毎月第4火曜開設)**

自分らしく生きるってどんなこと?

・夫・パートナー(親しい人)からの暴力に悩んでいますか?

・家族、子育て、友人、職場、学校、地域のことなどで悩んでいますか?

一人で悩まず、思い切って話して、解決の糸口を女性相談員と一緒にみつめてみませんか?

・相談日 7月25日(火) 午後1時30分～4時30分

・相談員 2人(女性相談員)

・相談方法 電話相談(面接可) 単人総合支所 ☎(42) 1111 女性相談室へお電話ください。

◎問い合わせ先 単人総合支所総務課地域振興係 ☎(42) 1111

**平成18年度 第38回始良地区体育大会 競技日程**

競技名	期日	会場
陸上	7月15日	国分運動公園陸上競技場
水泳	7月16日	国分総合プール
バレーボール	7月16日	蒲生町総合体育館
ソフトテニス	7月16日	始良運動公園庭球場
柔道	7月16日	重富中学校武道館
剣道	7月16日	吉松体育館
弓道	7月15日	竜門陶芸・健康の里屋内競技場(加治木町)
サッカー	7月15日 7月16日	始良総合運動公園
卓球	7月16日	国分体育館
軟式野球	7月15日 7月16日	始良運動公園野球場
ゲートボール	7月15日	福山多目的広場まきばドーム
ソフトボール	7月15日 7月16日	国分海浜公園グラウンド
バドミントン	7月16日	始良町総合体育館
バスケットボール	7月16日	隼人体育館
グラウンドゴルフ	7月16日	丸岡緑地公園(横川)
クレー射撃	7月16日	加治木クレー射撃場
ハンドボール	7月16日	牧園アリーナ
全空連空手道	7月9日	鹿児島第一高校体育館
テニス	7月15日	国分運動公園テニス場
カヌー	7月16日	天降川野口橋上流カヌー特設会場(隼人)
ゴルフ	7月14日	溝辺カントリークラブ
ボウリング	7月8日	国分国際ボウル
ラグビー	7月22日 7月23日	加治木工業グラウンド

【お詫びと訂正】  
広報誌(お知らせ版)6月号の8ページ国分駐屯地祭り◎問い合わせ先(64)は(46)、12ページのはやくとすずかけ号(移動図書館日程表)の時間は上下(逆)の誤りでした。



8 9 9 - 4 3 9 4

お手数ですが  
50円切手をお貼りください

霧島市役所  
広報広聴課 行  
(No.14/2006.7)

◎ご氏名  
フリガナ \_\_\_\_\_

年齢 / \_\_\_\_\_ 歳 性別 / 男 ・ 女

◎ペンネームまたはイニシャル \_\_\_\_\_

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□ \_\_\_\_\_

電話 ( \_\_\_\_\_ ) - \_\_\_\_\_



↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



### Readers Voice

## 読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



Community

**字** を少なくとも新聞記事程度にもう少し大きくしてほしい。税金で作られた高価な冊子も高齢者などには少々読みづらく、良い記事が書かれているのに、折角のご苦労も読まれないにゴミ箱行きです。ご検討されてはいかがでしょうか。

広報きりしまの発行回数を経費節減を考慮月一回にしてはいいかがでしょうか。内容再検討の上、必要に応じて定期的でなく、臨時増刊にしたらいかがでしょうか。(和気の清麻呂さん65歳)

字体やレイアウト等、広報誌の先進地事例を参考に学んでいるところですので、ご理解をお願いします。

**広** 報きりしまのエッセー、地域づくり「集客都市」霧島の魅力の中で、二〇一〇年の「観光の関ヶ原合戦」の年に向けて九州の各都市がその魅力を競っていることを知りました。もてなしの第一歩は、市民が地域のことを知ることが重要であると書かれていました。それを受けるかのように、早速パワースポット(人を感動させる力がある場所)霧島の紹介に重点をおいた企画のスタートは編集者の意気込みと情熱を感じました。新霧島市の明るい未来の幕開けを感じました。(語いもんそさん61歳)

ありがとうございます。これ

からも皆さんに親しまれ、喜んでいただける広報誌づくりを目指して頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

**今**日は、日ごろの思いを綴ってみました。疲れた心を癒してくれるのはやはり自然です。森の中にいるときのやすらぎ、ふと足もとに目をとめると小さな野の花が咲いていて「あなたもめげずに健気に咲いているのね」と声かけしつつ自分を慰めるのです。「このころ、残念に思うことがよくあります。道ですれ違うとき、子どもたちが携帯電話に夢中で下ばかり向いて歩いている姿です。「ほら、今、アジサイの花がきれいに咲

いているよ。ほら目を上げて遠くを眺めてごらん霧島連山が霧に包まれていて雄大ですばらしいよ」とボンと肩を叩いて教えてあげたいのですが、これを年寄りのお節介りというのでしょうか「子どもたちよ、もっと、もっと自然の中へ」と言いたいのをためらっている私がいいます。(T・Kさん60歳)

自然はすばらしく心が和みます。子どもたちも自然が好きだと思いますが、常に自然を感じ取ってほしいですね。

**へ**んを取り書きものなんて本当に久々で、悩みつつ書いております。実はコンサートチケットがほしくて苦手なおたよりしています。でもすみずみまで読ませていただきました。地元に住みながら知らないことがたくさんあり「広報きりしま」は毎月楽しみに心待ちにしている情報誌です。今回の特集「山編」は若かりしころ、親子で訪れた月日を思い出させてくれました。まだまだ元気で孫と自然を楽しみ思い出づりしたくなりました。体鍛えようと思います。(F・Tさん51歳)

●

り、市役所で絵も見ました。シヨックでした。二女より一歳年下の方が、地獄まで突き落とされた後に描かれた絵に、自分の小ささを思い知りました。長丸さんに比べとるに足らない悩みでした。教えていただいていたことがどう。そしてぼつぼつ頑張っている絵を見せてください。(国分姫子さん62歳)

娘さんの思いが叶ってよかったですね。娘さんのためにも元気で頑張ってください。

**霧**島市が誕生して約8ヵ月、ワクワクした期待感に満ちた市誕生で、国分・隼人に住む者にとってはとてもうれしい気分です。イベントも多いし、急に都会人になったような気分、市長さんの精力的な活動振りには圧倒されそうです。また、きれいな広報誌も自慢のものでしよう。しかし過疎が過疎を呼んでいるというか、最近になって時々「合併して本当に良かったんだらうか」と思うようになりまし。本当にいきいきした街になっているのでしょうか。国分の街に行けば都会人のような気分になりますが一歩外に出れば、さみしい、さみしい

育費も十余年前に終えた年金生活の私達に、突然と医大に合格したと二女が言ってきました。今更、しかも医大など何と好んでと怒りまくっていたとき、長丸さんを知

広報きりしまを楽しみにしていただいていた方がとうございませ。お孫さんとの思い出づくりを楽しみますね。

**新**市報楽しく読ませていただいています。多彩な内容であらためて勉強にもなります。山口から鹿児島に嫁いで20数年知らないことの多いこと。我市のいい所、市報で教えていただいています。できることなら、きりしま/かわら版で。紹介の行事：なかには行ってみたい。参加したいと思うこともありました。事前の行事紹介のコーナーもあったらいいかなあと私事ですが思いました。コンサート情報 good です。国分できけるなんて最高！これからも楽しみにしています。(国分の風さん51歳)

市内至る所に私たちも知らないいいところがあります。情報がありましたら教えてください。ね。

**す**っきりした市報になりました。高級感が出てきました。が、対象となる地域が広がり、親しみのないページが多くなっただけががが。しばらくはが

合併して半年が過ぎいろいろ感じるところも多いですね。これから霧島市をどういうまちにしていきたいのか、みんなが知恵を出し行動していけたらいいですね。

このほか、25通のお便りがありました。紙面の都合で、掲載できませんでしたが、ありがとうございます。いただいた意見については、今後の参考にさせていただきます。

この読者の声は、いただいたハガキの内容をそのまま掲載しています。

※ハガキには住所・氏名・年齢等を必ずお書きください。ようお願いたします。



# 高知から鹿児島へ

◎猪瀬 俊和



飛行場全体を見渡せる管制塔から離発着を確認

東京都新宿区にある早稲田大学の時計台で有名な大隈講堂を起点に、けやき並木のグリーンベルトが続く早大正門通りが東西に延びている。昭和30年代の早大正門通り、早稲田周辺は、昨年公開された映画「ALWAYS 三丁目の夕日」(西岸良平作、小学館発行ビッグコミックオリジ

ナル連載)そのままの世界が広がっていた。神田川沿いに大日本印刷、凸版印刷などの大工場と、その下請け、孫請けの印刷製本関係の町工場が軒を連ねていた。街にはオート三輪が走り、街頭テレビでプロレス中継を見る人々が群がっていたのも記憶に残っている。そんな街で高校

卒業まで育ったが、ふと進学指導の壁に貼られた「航空管制官募集」のポスターに目が留まり、当時、運輸省の所管であった航空管制官を養成する機関を受験し、管制官の卵として研修を受けたのが、今から37年前のこと。  
ここ九州は鹿児島空港に着任するまでに、航空管制の現場はもとより、さまざまな職場で貴重な経験を積み重ねることが出来たことは、何物にも代え難い財産と感じている。転居を伴う異動はたぶん7回、伴わないものを含めると10回の異動を経験することができた。航空局職員の一生の中で経験する異動回数では普通か少ない方であろう。沖縄県を始め、それぞれ移り住んだ場所、たぐさんの友人と深い思い出が残っている。  
昨年7月に前任の高知龍馬空港から転勤して、ちょうど一年を迎える。鹿児島空港近くには坂本龍馬・おりょうが新婚旅行で訪れた塩浸温泉があり立派な銅像と案内施設があった。何か

の縁がと思うことも、しかしながら残念なことに、こちらは侘びしい単身赴任。  
高知県は坂本龍馬の産まれ故郷、月の名所桂浜には熱い思いを胸に抱いた龍馬の像が雄々しく太平洋を臨んでいた。高知の人々の龍馬に対する思い入れはこのほかで、前述の空港名まで愛称として県議会でも可決、県内外でも親しまれている。ただ単に愛称として使用するという決議に止まるとはいない。空港ビルの看板から、空港リムジンバスの行き先表示、周辺道路の案内標識など、億円の費用を要したことは言うまでもない。  
国内ではセントレア(中部国際空港)、マリンエア(神戸空港)、コスモポート(種子島)等、カタカナ合成語の空港名が流行っているが、外国にはJ・F・ケネディ(米国)、ジョン・ウエイン(米国)、ジョン・レノン(英国)、シャルル・ド・ゴール(フランス)、蒋介石(台湾)など人名を付した空港が数多くある。功を成した先達に思いを馳せ、日常的に使い続けることで、内外へその土地の持つ印象をアピールする役割を果たしている。

鹿児島空港は東京、大阪などの都市間の交通手段として果たす役割、島嶼と県本土を結ぶ要であり、国際線を含むビジネス、観光といった経済交流の基点として、また防災、急患輸送といった県民生活を支える存在がますます重要視されているところ。全ての空港勤務者の願いは安全で安心、地域とともに共生、発展する空港を目指すこと。  
いつの日にか鹿児島空港に西郷どんの名前が付くかどうか、お湯割りの焼酎を手に想いを巡らせ、今宵も霧島の夜が更けていく。

### Profile



いのせ としかず (54) / 昭和26年9月13日生まれ、運輸省(当時)航空保安大学校航空管制科卒業、東京、那覇航空交通管制部、成田国際空港(2回)、労働組合専従、航空局飛行場部、広島県出向、航空局管制保安部勤務、高知龍馬空港長を経て鹿児島空港長。千葉県成田市に妻、一男一女、一犬の家族、単身赴任中。趣味は温泉、ゴルフ、芋焼酎。



## おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださった方の中から舞台公演チケットを10人の方にプレゼント。応募締切は7月19日(水)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

PRESENTS



## THE WINDS OF GOD

～君のかなたへ～

### の公演チケットをプレゼントします

日時/8月11日(金) 午後6時開場 午後6時30分開演  
場所/みそめ館(霧島市溝辺町)

- ・チケット料 金/全席指定4,000円(当日4,500円)
- ・チケット販売所/みそめ館、市役所1階売店、市内各出張所生涯学習課、隼人国分サティ、ミヤタカンパニー、縄文きずなカードインフォメーション、きりしま国分山形屋、市内郵便局他

◎問い合わせ先/文化振興課芸術文化係 ☎(64)0990

「僕たちの時代って、ホントに平和だったんだね。だけど、平和すぎて自分というものが見えなかったよ。平和じゃなかったのかも知れないね。平和って、本当になんたのんびりね。」  
作・演出・主演/今井雅之

**市長と語りもんぞ**  
市長コラム 前田終止

先月号に読者八ガキを載せました。50円切手を貼るようになっていたので不安と期待でいっぱいでしたが、6月23日現在で33通が届きました。心からお礼を申し上げます。このことは開かれた市政の一助になればという思いと、一方通行の広報誌からくつと踏み込んで皆さんの提言などを市政に反映できれば最高だなという考えがあります。33通中一通が匿名で、広報担当が「匿名の扱いはどうしますか」と言っているものから、私は「山より大きい猪はいない」と返答しました。ふるさとに対する思いは皆さん一緒、合併直後の郷土づくりに敵も味方もなく、市民と市職員が共に力を合わせ頑張ろうということが言いたかったのだ。

「ラムがおもしろくない」という私への批判もありました。責任ある立場は常に批判にさらされます。「語りもんぞ」も含めて大切なことは、その批判が建設的であるか、先見性があるか等、謙虚に聴くということだと思っています。もとより浅学非才の身、非力な点もありましようが、愛郷無限の心意で郷土に尽くしたい気持ちはだれにも負けません。一緒にキバイもんぞ!